

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	言葉による拘束について、利用者へ与える影響や弊害を含め、全職員で学ぶ機会を多く持つことが望まれる。全職員が言葉による拘束について認識を深め、支援に役立てていく。	言葉による拘束とは具体的にどのような物があるのか理解し、それに伴う影響や弊害もあわせて認識する。現場で拘束するような言葉を聞いたときはスタッフ同士で気付かせあうようになる。	勉強会の時間を用いて言葉による拘束とはどのような物があるのか例を用いながら知識を深め、あわせて影響や弊害についても理解を深める。勉強会時に、ユニットで実際にあった事例を発表する機会を設ける。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月